

Unit 18 仮定法過去

I wish I were Superman. (もしぼくがスーパーマンだったらいいのに) は典型的な仮定法です。実際はそうではないけれども、if I were Superman (もしスーパーマンだったら) という仮想の状況を立てて、それを望む (wish) という内容になっています。つまり、I wish I were Superman. のような表現の背後には、if I were Superman という発想があるということです。このwereはBE 動詞の過去形であることから、(if) I were Superman の部分を「仮定法過去」と呼びます。

仮定法過去の表現は、視点を現在に置いて「(いま) 仮に～だとしたら」という仮想の状況の設定をする際に用います。例えば、If you were a billionaire, how would you spend your money? だと「実際は億万長者ではないが」が前提としてあり、その上で「もし億万長者だったら、お金を何に使いたい?」という内容になっています。

仮定法過去を伴う状況設定に、「主語 + would do」が続く傾向がありますが、状況によってはcould (～できたのに) やmight (ひょっとしたら～かもしれない) も使われます。

また、否定的な意味合いを含む仮想状況も考えられます。例えば、If you didn't support us, the election campaign would be bankrupt. (もしあなたの支持がなければ、選挙運動は大失敗するだろう) がその例です。without your help やbut for your help という表現もありますが、but for... は硬い印象を与える表現でなので、日常会話ではwithout のほうがよく使われます。

仮定法過去の願望文の代表は、先に挙げたようにI wish I could [were]... です。いくつか例文を挙げておきましょう。

I wish I could marry her now.

(彼女と今結婚できたらいいのに)

I wish I could explain myself in Chinese.

(中国語で自分のことを説明できればいいのに)

I often wish I were wealthier.

(もっと裕福だったらとよく思う)

仮定法過去形は、会話などでも使える面白い質問を作る際にも向いています。以下は、その例です。

If you could be a super hero, which super hero would you be?

(もしスーパーヒーローになれるとすれば、どんなスーパーヒーローになりたい?)

If you could be a bird, what bird would you choose to be?

(もし鳥になれるとしたら、どんな鳥になってみたいですか?)

If you could be another person for a day, who would you be?

(もし1日だけ別人になれるとしたら、誰になりたいですか?)

If you could be invisible for a day, what would you do?

(もし一日透明人間になれるとしたら、何をしたいですか?)

If you could change one thing about yourself, what would it be?

(もし自分の中の1つを変えることができたとしたら、それは何でしょうか?)

こんな質問をすれば、会話が盛り上がりそうですね。